

品川区立学校長寿命化計画の概要

1 目的

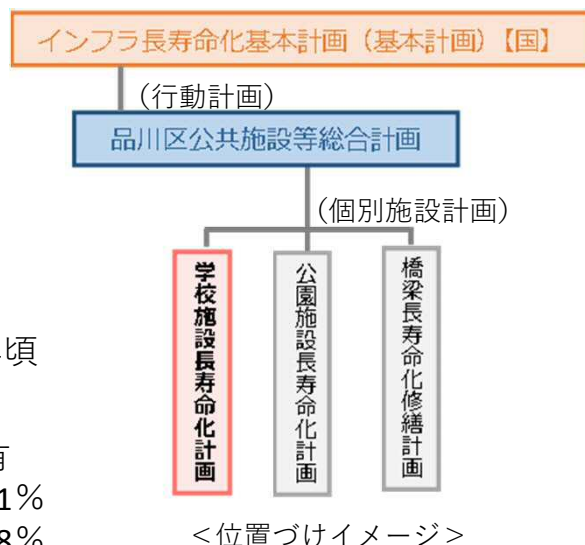
- ・児童・生徒の良好な教育環境を守る
- ・施設の安全性を確保する
- ・維持管理等のコストを把握し縮減や平準化を目指す

2 位置づけ

- ・品川区公共施設等総合計画に基づく個別施設計画

3 区立学校の現状

- ・児童・生徒数は21,307人（令和2年5月1日時点）
- ・年少人口（0～14才）は令和18年頃まで増加する見込み
- ・延床面積約34.5万㎡の建物を保有
 - 築30年を経過 16.1万㎡で41%
 - 築40年を経過 13.1万㎡で38%



4 躯体の劣化状況

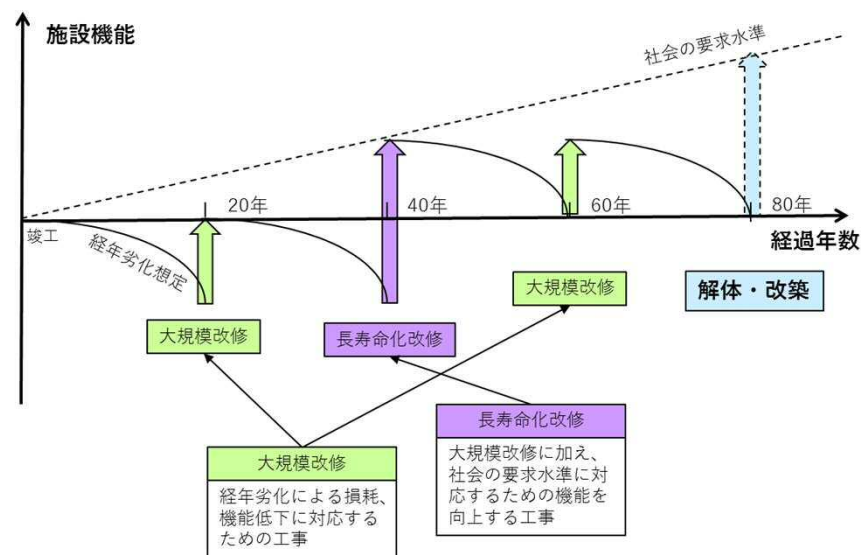
- ・平成22年度までに全校耐震改修工事を完了しており安全は確保されている

5 施設の評価

- ・屋根および屋上、外壁、内部仕上（空調含む）電気設備、機械設備の5部位について定期点検報告書や改修年度などに基づきA～Dの4段階で評価

6 改修・改築の考え方

- ・機能維持のため、老朽化がみられる部位の改修を適宜行うとともに、大規模改修工事や機能回復および向上を目的とした長寿命化改修を計画的に行う。
- ・老朽化が進んでいる学校は改築を進める
- ・80年を目標使用年数とし、概ね20年ごとに改修工事を行う（下図のとおり）



<施設を80年使用する場合のイメージ>

7 継続的運用

- ・施設保全システムに情報を一元化し管理する
- ・社会環境の変化に合わせて適宜見直しを行う